

# この気笛きこえるか平野君

## 反合・運転保安闘争の強化で「3.30」を二度とくり返させない

### 3.30平野君一周忌追悼集会開催される

三月三〇日、勝浦運転区において「平野君殉職一周忌追悼集会」が行われた。集会には勝浦支部組合員、各支部代表を含め九〇名が参加し、故人の冥福を祈るとともに、あの痛ましい事故を二度とくり返さないために、「闘いなくして安全なし」を合言葉に、反合・運転保安闘争をさらに強化し闘いぬく決意を新たに示した。

「闘いなくして安全なし」を合言葉に闘おう

集会は十時三〇分、鶴岡書記長の司会で始まり、冒頭、故平野君の冥福を祈って黙禱を行った。勝浦支部を代表してあいさつにたった鶴岡支部長は、「平野君の痛ましい死に直面し、当局への怒りは頂点に達した。この一年間、組合員一人一人が闘ってきたが、十八万八千人体制―『分割・民営化』にむけた攻撃が激化する中で、とりわけ『60・3』により運転保安はなおさらにされ、われわれの生命が脅かされている。今日の集会を契機に、再度怒りを爆発させよう。自衛手段をあみ出し、日常的抵抗闘争を積み上げ、『闘いなくして安全なし』を合言葉に闘っていく」と決意を述べた。

#### 平野君のおもいを新たに闘う

決意表明の最初に、本部乗務員分科を代表して西森会長は「闘いなくして労働条件の獲得も身の安全も守れないことを確認し、全員の協力で職場抵抗闘争を闘いぬける組織体制をつくりあげよう」と述べた。

また、勝浦支部乗務員分科の藤本会長は「30を忘れるな」を合言葉に一年間闘いぬき、危険踏切はほぼ一種化した線路はまだ改善されていないうえに、『60・3』のスピードアップで劣悪化は必至だ。局長は昨年の団交で乗務員の声を反映させるといったが、殺人的交番で応えた。分科は平野君のおもいを新たに、さらに団結をうち固めて闘っていく」との決意を表明した。

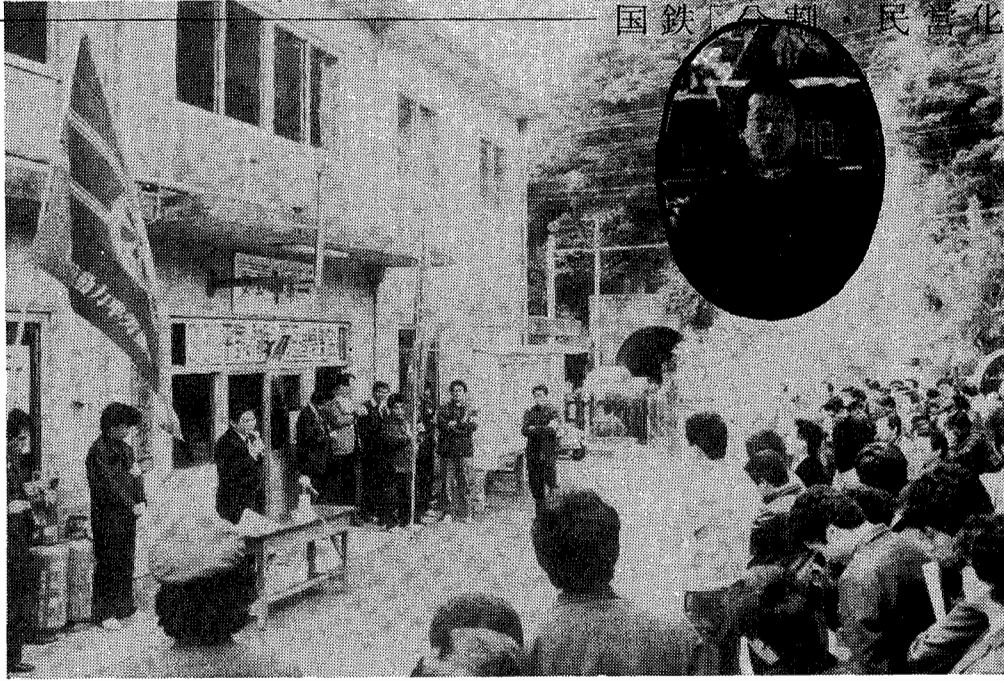
#### どんな攻撃にも屈せず闘うことが平野君への追悼だ

つづいて、本部を代表してあいさつにたった中野委員長は、「60・3」大合理化攻撃の強行は恐るべき重大事故発生を危険性を高めており、『三河島』『鶴見』事故以来、動労の原点としてきた『反合・運転保安闘争』を再度確認し、強力に展開していかねばならない点を強調した。

最後に、全支部を代表して館山支部の笹生支部長は「十八万八千人体制にむけた労働強化、『過員』攻撃は運転保安無視の攻撃だ。動労千葉の原点である反合・運転保安闘争を柱に、全体で闘っていく」と、共に連帯して闘う決意を述べた。集会は照岡副支部長から「故平野君追悼・運転保安確立にむけ、さらに団結を固め闘いぬく」との決議文が読みあげられ、全参加者の拍手で確認し山口副委員長の団結ガンバローをもって終了した。集会終了後、全参加者が平野家を訪れて焼香をささげ、故人の冥福を祈るとともに、二度と悲惨な事故をくり返さぬ決意を新たに示した。

#### 「長緩気笛」を一斉に吹鳴し、抗議の安全運転行動を貫徹

この日、平野君が虐殺された時刻である「十時三〇分」動労千葉の乗務員が運転する全列車は、平野君虐殺への抗議と追悼の意をこめて、一斉に「長緩気笛」を吹鳴すると同時に、〇時から二四時までの間「細代踏切」での全列車の「注意運転」行動（『指令第十号』水日刊第一九〇三号の指示号数は誤植）を貫徹し、新たな運転保安闘争への決意を表わした。



さらに船橋事故をはじめ「線路」「ジェット」を闘ってきた動労千葉こそが動労の原点を唯一継承する組織であり、今こそ反合・運転保安闘争の全国的拡大にむけ奮闘することを訴えた。とりわけ、「60・3」に唯一、実力決起した闘いにふれ、この闘いを動労千葉の今後の闘いの原型としてさらに発展させていくことの重要性を指摘した。その

よ！攻撃を粉砕せよ！組織破壊で組織の強固な団結を貫徹せよ！